

米子医学会

(NF), デュシェンヌ型筋ジストロフィー症 (DMD), 筋硬直型筋ジストロフィー症 (MMD) は比較的頻度の高い遺伝性疾患であるがその原因は不明である。TS, NF は腫瘍を作りやすい遺伝病であることから, 色素性乾皮症や家族性大腸ポリポーシスの培養線維芽細胞で報告されてきた異常を検討してきたが現在までのところ異常を見出し得ない。DMD, MMD はカルシウム透過性やその他の細胞膜機能がその病因と関係している可能性がある, 種々のカルシウム濃度の培地での細胞の挙動, 各種膜機能阻害剤に対する反応をみたが, DMD では明らかな異常はなく, MMD では麦芽レクチンに対し感受性が高かった。先に教室の中野らが報告した MMD 線維芽細胞のインスリン結合能の異常を含め MMD 線維芽細胞ではいくつかの膜機能に変化を生じている可能性が示唆された。

3. 遺伝性疾患の細胞生物学的研究

鳥大脳神経小児科 大野 耕 策

結節性硬化症 (TS), レックリングハウゼン氏病